

長い農道もみんなの力を合わせて



それぞれ道具を持って

昨年末から始めた農道清掃活動、今回は西ノ池農道を実施しました。

1月27日、前夜からの寒波が心配されましたが、幸いにも冷え込みも厳しくなく、日差しもある心地よい冬の日となりました。

当地区の農地には東西方向に大きな農道が3本あります。周辺の小字を取って北側から

「大森農道」「西ノ池農道」「金原農道」と呼ぶことにしています。

農道について

は農作業で農耕機械が主に使用するので、従来清掃作業はしていませんでした。隣接する水路については、毎年共同作業を実施し、その際に気になるところを手入れする



みなさんのおかげできれいになった農道。

程度でした。農地管理者の責任に任されていたわけです。

しかし、耕作が法人に統一され、管理者の責任も曖昧になってくるために、こうして作業をする必要が出てきたのです。

前回の作業で道具や作業方法について経験し

ましたので、今回の作業はかなり要領を得たものとなりました。

圃場整備事業を実施した40数年前に農道の舗装を実施していたことで、これまで、ほとんど管理の負担がありませんでしたが、経年変化は止められません。これからも定期的に清掃などの管理作業をしていくことになると思います。

2月3日、10日とそれぞれ作業を予定します。どうぞご参加ください。

平成31年もみんなで八方原を盛り上げよう

1月6日、八方原自治会の新年会が開催されました。従前は消防組の出初式に合わせて、開催していましたが、私設消防組の出初式参加がなくなったことで、年明けの日曜日のお昼に行うこととなりました。

当日は○数名の会員が参加、新年のお祝いと、今年の平穏と活躍を祈って杯を上げました。この行事を行うに当たって、重富享佑さんの「しめ縄」、原田悦子さんの「生け花」などたくさんのご奉仕がありました。また、数多くの事業所から、過分なご芳志も頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。自治会長 原田茂樹



食べながら、飲みながら、話は弾む

日本で学んで家族の暮らしを豊かに



ケン君は仕事熱心な勉強家

山陽鋼機建設株式会社では、フィリピンからの外国人技能実習生を受け入れています。自転車で通勤する彼らに「オハヨウゴザイマス」と挨拶を交わした人も少なくないと思います。

いったいどんな若者がここで働いているのでしょうか。同社では現在6人のフィリピン人が働いているとのこと。今回は日本語が上手なケネス・アルメンドラスさんにお話を聞きました。

ケネス君は日頃は「ケン君」と呼ば



上の地図の中央部分にカバナツアンの街がある（ワールドアトラスより）

れています。故郷には奥さんと子どもを残して、実習に来ています。ヌエバエシハ州のカバナツアンという街が彼のふるさとです。地図で見ると海に面していない内陸の街です。

フィリピンには地元の言語フィリピン語（タガログ語とほぼ一緒）と英語が一般的ですが、島によっては地元の話葉が違つたために英語でしか話せないところもあるそうです。ケン君は母国語はもちろんですが英語も自由に操れるし、日本語も上手です。今回のインタビューのために事前に質問書を渡したところ、きれいなひらがなで答えてくれて、驚かされました。現地でも数ヶ月教育を受けて、日本に来て「トレーニングセンター」で研修を受けるのですが、こんなに上手とは、山陽鋼機建設の平田社長もびっくりでした。

フィリピン社会全般では、大学を卒業した人は高い収入の仕事につくことが多く、学歴による格差が大きいとのこと。日本はチャンスが多いとケン君は感じているそうです。

ふるさとの自慢は何かと聞くと「ソーセージ祭り」だと教えてくれます。

した。いろいろな種類のソーセージが食べられるそうです。とにかくみんなでパーティーを開くのが大好きで、そのため働いているのだと教えてくれました。

日本に来て「その清潔さ」に驚いたとのこと。新幹線の速さにもびっくりしたと話してくれました。どこでも安心して行くことができるのもすごいし、文化がとても豊かだと話してくれました。たくさんのかを3年の間

に学んでいるのですね。

建設骨材の溶接や切断など、高度な作業を続けています。溶接の技術は社長も認めています。将来はここで身につけた技術で家族の暮らしをより豊かなものにしたいと熱く語ってくれました。

この3月にはビザの関係で一旦母国に帰るそうですが、妻や子どもさんに会うのが楽しみだと言っていました。



鉄材の加工の準備中

チームハツポウのメンバー活躍

前号でもお伝えしたとおり、チームハツポウは第14回山口市駅伝競走大会の出場を断念しました。

しかし、メンバーはそれぞれ様々な大会で活躍しています。原田裕基君は27日の中国駅伝大会をチームビバの第3走として走りました。

また国本君は20日に行われた城下町



裕基君の疾走（新町付近）

長府マラソン大会に親子三人が出場、全員がそれぞれのクラスで入賞という活躍ぶりでした。